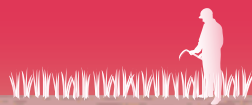


ニホンザルの被害防止

知って防ごう サルの害



ニホンザルは丹精込めて作った農作物を荒らすにつつき動物ですが、森の生態系の重要な一員です。サルの特徴をよく知って、うまく棲み分けていくことが大切です。

サルにまつわるホントにホント？ 正しい知識を持ってサル害に立ち向かおう

ホント？
1

サルは本当に賢いの？

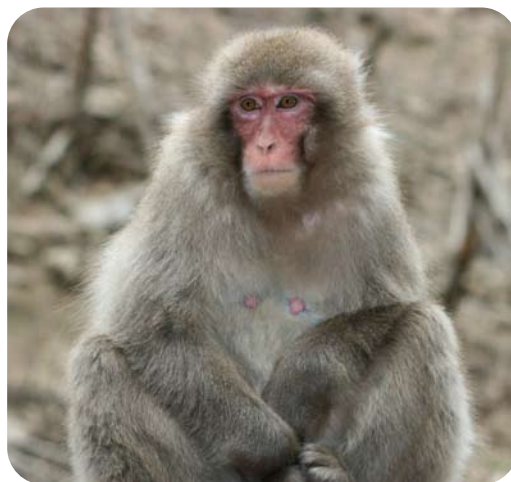
頭がいいのは「記憶力」です。おいしいエサにありついた場所や、出会っても怖くない人はすぐに覚えます。

ただし、他のサルのまねをしたり、サル同士協力して作業をすることはできません。

ホント？
2

臭いや音には敏感なの？

サルの嗅覚や聴覚は人間並みで、イノシシやシカに較べるとたいしたことありません。いろんな情報はもっぱら目で見て集めています。(だから活動するのは日中です)



ホント？
3

強いオス（ボスザル）が群れを仕切っているの？

野生の群れの動きは成獣のメスが支配しています。オスは群れに合わせて動きますが、5～8歳に成長すると生まれた群れから離れます。群れを離れたオスは、他の群れに加入したり、オスグループを形成したりするほか「ハナレザル」として単独生活を送ります。

ホント？
4

子供は毎年産まれるの？

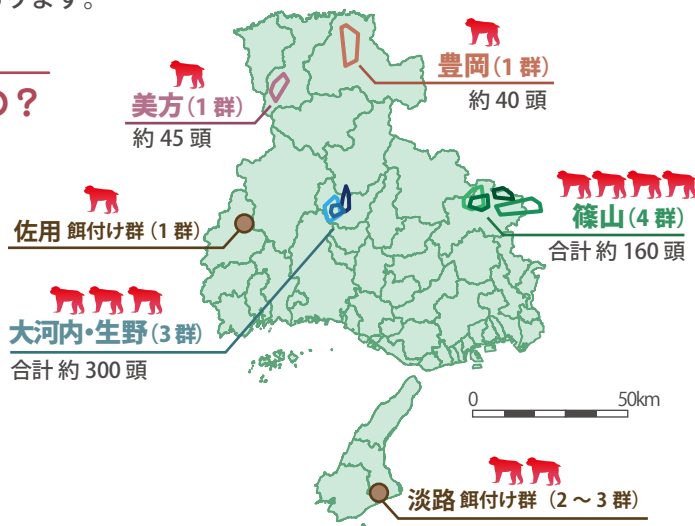
野生の群れでは、最初のお産は6～7歳、その後2～3年に1回のペースで出産しますから、爆発的に個体数が増える動物ではありません。ただし農作物や餌付けにより栄養状態がよくなれば初産年齢が早まったり、出産間隔が短くなる場合があります。

ホント？
5

兵庫のサルはどのぐらいいるの？

餌付けされている群れをあわせると12～13群が生息しています。ただし、近隣県に比べると少ない状況です。1群しかいないなど、孤立化が進んでいる地域もあり、地域的な絶滅も心配されています。

しかし、すべての群れが集落に出没し、農作物に被害を与えるなど、問題が起きています。



個体数調査および行動域調査 (2010年)



農作物被害



短時間でも大きな被害が発生する

群れで来るので、広い田や畑でも短い間に大きな被害を受けることがあります。



ぜいたくな食べ方をする

作物の中でおいしい部分だけをかじって捨て、次々と新しい作物を食べていくので食べ残しが散乱します。



人なれがすすむと

サルは学習能力が高いため、楽にエサを食べられる方法をどんどん覚えていきます。人なれがすすむにつれ、次のように行動がエスカレートしていくのが特徴です。

サルの人なれ度合い レベル5

- 1 人の姿を見ると、遠くにいてもすぐ逃げる
- 2 人が遠くにいと逃げないが、近づくと逃げる
- 3 人が近くにいても多くのサルが逃げない
- 4 人が追い払ってもなかなか逃げず、時には威嚇してくる
- 5 民家に侵入することがある



ハナレザルについて



オスは成長すると生まれた群れを離れます。他の群れに合流したり、オスグループを形成したりするほか、「ハナレザル」として単独生活を送ります。



ハナレザルがやってきたら？

餌付け行為をしない

好奇心などからエサを与えたりすると、「ここは居心地いいね！」とサルが思うため、長期滞在したり、被害が続いたりします。

みんなで追い払う

集落や住宅地を徘徊したり、加害している時は、積極的に追い払って、その場所から移動をさせるようにします。(通常1週間～1ヶ月で通過)

有害捕獲の実施

追い払いなどを行っても、集落や住宅地から移動しない場合や、人を威嚇したり民家に侵入したりするなど、人身被害の可能性が高い場合は、箱わななどを使って捕獲します。



被害対策

サルにとって居心地が悪くてエサがない集落にしましょう！

サル対策の ポイント

- | | |
|------------|------------|
| 1 大事なものは | ▶ 守る |
| 2 不要なものは | ▶ なくす |
| 3 サルを見かけたら | ▶ とにかく追い払う |
| 4 集落周辺は | ▶ 見通しを良くする |

守る

囲って 隠して しっかり守る

- ・サルの行動特性に合わせた防護柵で農地を守りましょう（裏面参照）
- ・収穫した作物の保管はサルの目にふれないようにしましょう
- ・サルがあまり好まない作物（トウガラシ、オクラ等）を畑の外周に植えるなど、菜園全体の魅力をなくす工夫をしましょう



サルがよじ登ると感電する電気柵

なくす

ストップ！知らない間の餌付け行為

- ・野菜クズや生ゴミなどを捨てないようにしましょう
- ・野外でバーベキューをした残りは持ち帰りましょう
- ・山裾の畑などで「サル用」と称する捨て作りはやめましょう
- ・お墓参りのお供えは必ず持ち帰りましょう
- ・利用しないカキやクリは切りましょう



畑に捨てられた野菜クズ

追い払う

人間はみんな怖いぞ！と 思い知らせる

- ・一人でも多くの人数で、できるだけしつこく！
- ・追い払いのターゲットはメスと子ども！
- ・ロケット花火、電動ガンなどを活用しましょう！特に体力のない人ほど強い武器を！
- ・犬を活用しましょう！
- ・農作物を収穫した後でも、サルが農地で残り物を食べていたら、追い払いましょ



追い払い道具



サル追い払い犬

注：犬のリードをはずして追い払う場合は、県の定めたガイドラインに基づき訓練し、市町長の認定を受けるなど、一定の条件が必要です。

見通し

サルが身を隠す場所を減らしましょう

- ・林縁部（集落と山林の境）は、特に見通しを良くしましょう
- ・集落内のやぶをなくしましょう
- ・逃げ場所になっている立ち木はできるだけ切りましょう



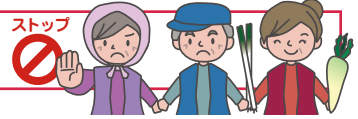
刈り払われた林縁部



住民パワーを結集してサル被害に立ち向かおう！

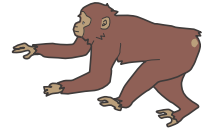
地域ぐるみ対策の進め方

集落や農地がサルのエサ場にならないように、地域ぐるみで総合的な対策を進めましょう！



① 被害を出している動物や被害対策のことを知ろう

- ・サルの食べ物や運動能力、行動特性やサルを集落に引き寄せている原因を知る
- ・いろいろな被害対策（環境整備、追い払い、防護柵の設置方法など）を知る



② 守るべき自分たちの地域を知ろう

- ・アンケートや聞き取り調査、集落診断などで被害状況や集落の状況を調べる
- ・集落研修会で住民全体が情報を共有する



③ 被害対策の計画を立て、実施しよう

- ・被害対策の計画を立て、住民全体で合意形成を図る
- ・計画実施のための体制、労力、費用について検討し、実施する

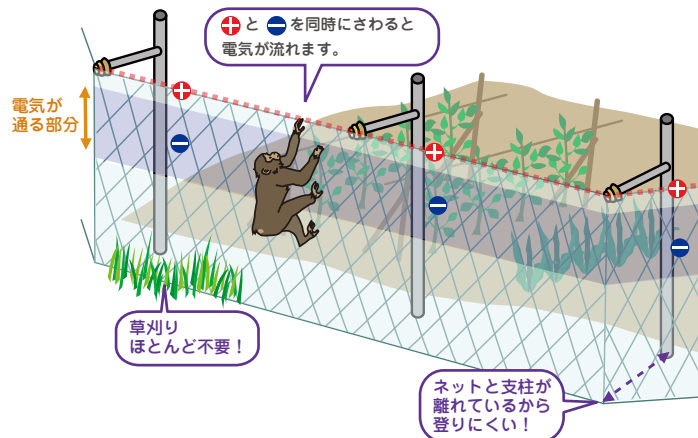


防護柵の例

電気柵「京都大学方式ネット型柵」

(特許第 3660996 号)

- ① ネットが支柱から離れている。
(よじ登るのに時間がかかり、確実に感電させられる)
- ② 構造が簡単で、材料が軽量なため、山間・傾斜地でも人力で施工できる。
- ③ 支柱などの材質は、一定の強度さえあればよいので、高価な材料を必要としない。
- ④ 雑草による漏電がないため、草刈りの頻度が少なくてすむ。



侵入防止柵「シシ垣くん」

開発：鳥取県

- ① 設置が簡単。資材のほとんどが量販店で購入できる。
- ② ワイヤメッシュをアースの電極として利用できるため、サルなどのよじ登るタイプの動物に電気ショックを与えることができる。
- ③ イノシシやシカを同時に防ぐことができる。

+ひと工夫！

- ④ 塩ビパイプにアルミテープなど通電性のあるものを巻き、碍子（がいし）の代わりにクリップを使うことで、支柱に上って侵入されるのを防ぐことができる。
(兵庫県香美町方式)

